

## 平成23年度第1回

### 掛川総合スポーツクラブ指導者の会 報告書

平成23年7月27日(水) 19:00～  
総合体育館さんりーな 研修室

出席者 松浦金作(NPO法人掛川市体育協会会長)  
野ヶ山市兵衛(NPO法人掛川市体育協会専務)  
板垣晶行(NPO法人掛川市体育協会管理局長)  
越水律子(健やかヨガ) 露木裕子(とくとく長寿体操)  
小柳津佳代子(クラシックバレエ・エクササイズ) 中山公子(レディース体操)  
真野まり子(エアロ)、山本ときゑ(薙刀)  
西川恵子・鳥居俊彦(バドミントン) 小笠原喜代美(空手)  
大森孝太郎(銃剣道) 中村利奈(硬式テニス) 小安文夫(ソフトテニス)  
板垣弘子・杉浦永枝(硬式卓球) 松浦和宏(社交ダンス)  
近藤光博(交流プログラム) 村瀬行紀(アーチェリー) 望月政明(乗馬)  
大井野恵子(水泳) 松浦直子(かんたんヨガ)  
宮本知実・天野日南子(カワイ体操教室) 鈴木秀子(マイレフラ)  
中村拓生・山田和代(柔道) 佐藤健(ピラティス)  
糸田俊(マラソン)

#### 1. 開会のことば(松浦)

#### 2. 挨拶(NPO法人掛川市体育協会会長 松浦金作)

本日は指導者の会にご参加頂きありがとうございます。日頃のご支援厚く御礼申し上げます。本日の講演会は「東海地震に備えて」というテーマであります。自分が助ける側になるにあたって何が必要なのか考える良い機会になると思います。

最近ではテレビでエネルギー法案やストレステストなど地震に関わるニュースが多く取り上げられています。本日は講演会を通して様々な情報交換をして頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

#### 3. 報告事項

イ) 平成22年度 掛スポ実績報告について(小池) ※資料P.1

ロ) 平成23年度 掛スポ事業方針及び事業計画について(小池) ※資料P.2～3

ハ) 文部科学省「スポーツ立国戦略」のH23年度事業について(板垣管理局長)

※資料P.4

2010年に文部省が提唱したスポーツ立国戦略の中にスポーツコミュニティの形成促進事業があり、全国で19のクラブが拠点クラブとして活動する事が決定しました。掛川総合スポーツクラブはその拠点クラブに選ばれました。

#### 「Q&A」

Q: 地域課題と書かれているが具体的にはどのような課題がありますか?

A：大きく分けて3つあります。1つ目はスポーツ好きの子どもの育成です。まずは底辺を拡大し、競技力の向上を目指していきたいと考えており、そのための活動として現在オープン教室を開催しています。2つ目は少子高齢化です。地域住民の健康作りをサポートしたいと考えております。3つ目はスポーツツーリズムです。トランポリンなどのスポーツ大会で宿泊・移動・食事を手配する事で地元にお金を落とし、掛川で楽しめる着地型企画旅行を展開していきたいと考えております。

#### 4. 講習会

テーマ：東海地震に備えて

講師：中村晋也氏

静岡県地震防災アドバイザー

今日は東日本大震災で何が起こったのかという事と、東海地震に備えて何をすべきか考えるための機会にして頂ければと思います。

<東日本大震災のボランティアを通して感じたこと>

- ・好意で全国から送ってくれた衣服を仕分けするのが大変だった。着る事のできない服も多く、寄付する際に誰でも気持ちよく着る事ができるか考えた上で送ってほしい。
- ・津波で流れてきた泥で車が使えなくなった代わりに、自転車が有効的に使えた。
- ・被災地では自警団と呼ばれる自主防災組織を作り、自分たちの身は自分で守るという意識が強かった。避難所で生活していると家に誰もいなくなり泥棒に狙われる可能性がある。避難所だけでなく、自宅を守る必要もある。避難対象地域ではない場合は自宅にいた方が泥棒の被害にあう可能性は少ない。

<地震に関する知識>

- ・世界にある12枚の海洋プレートの内、4枚が日本にある事から日本に住んでいる以上地震と隣り合わせの生活になるのは必至である。静岡県では30年以内に震度6以上の地震が起こる可能性は87%と言われている。東海地震・東南海地震・南海地震が連動して発生した場合はマグニチュード8.7クラスの地震が起こると想定されている。

- ・警戒宣言が発令するまでの流れ

異常現象→調査情報→注意情報→予知情報→警戒宣言

警戒宣言が発令すると電気・ガス・交通網などが止まり、社会情勢が変わる。

- ・地震が発生し、ライフラインが復旧するまでにかかる日数

電話 10～12日

ガス 30日

上下水 30日

電力 6～12日

上記の日数は東海地震単独で発生した場合に想定される日数で南海地震、東南海地震が同時に発生した場合は更に日数がかかる事が予想される。

<東海地震に備えるためのポイント>

- ・「自分の住んでいる地域がどのような土地なのかを知ること」

住んでいる地域の特徴を知る手段として静岡県防災センターのホームページにアクセスすることを薦める。ホームページ内の「調べる」→「第3次被害予想」をクリックすると各地域の被害想定を確認することができる。今後第4次被害想定がアップされる予定。

・「地震が発生した瞬間に生き残ること」

家庭でできる防災対策の例

①家自体の倒壊を防ぐ

②家具などの転倒防止

寝室に家具を設置する場合は置く向きに注意し、人が寝ている方向に倒れてこないようにすると良い。阪神淡路大震災の時は揺れが 17 秒であったが、東海地震では 1～3 分の揺れが想定されている。住んでいる環境に適応した対応をとる事が必要となる。

・火事の予防

阪神淡路大震災では地震発生から 2～3 日後に火災が多発した。自宅から避難所に移る際はブレーカーを落とすことを忘れないでほしい。

・避難所運営ゲームの実施

避難所運営ゲームとは避難所での生活を実際に体験する事のできるシュミレーションゲームで、実施を希望する場合は各市町村への問合せが必要である。

## 5.その他

### イ) 連絡事項 (小池)

第 2 回指導者の会が 8 月 21 日 (日) に行われます。内容は露木裕子先生による「ストレッチポールを使用したストレッチ」講習会です。定員は 40 名で先着順になります。

### ロ) その他

特になし

### 挨拶 (野々山専務)

登録指導者の皆様には今後も掛川市のスポーツ振興に携わって頂ければと思います。東海地震に関しては備えあれば憂いなしという諺があるように、日頃からいざという事態を想定した行動を心掛けていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

## 6.閉会のことば (松浦)

